

＜評価について＞

評価をするにあたっては、以下のような基準で行なっています

A 十分できている

B おおむねできている

C やや不十分

D 改善を要する

	自己評価の観点	項目	内容及び課題	評価
保育理念	子どもの最善の利益の考慮	子どもの人権の尊重	子どもの人権に十分配慮するとともに、一人ひとりを大切に する保育を行っている	C
		保育方針・保育目標	保育理念・指針・保育目標について理解し作成している	B
子どもの発達援助	子どもの福祉を 増進することにも もっともふさわ しい生活の場	健康・安全で心地よい生活	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がされている	B
		子どもの主体的な生活	子どもの主体的な遊びを尊重している	B
		人との関わりを育む環境	遊びや生活を通して、子ども同士の関係や保育士との関係が 育つよう配慮している	C
	生活と発達の連 続性	子ども観・発達観の 理解と共有	保育指針や理念を理解し、子どもを愛護しながら育むことを 共有している	C
		発達過程に応じた保 育	発達過程を踏まえ、保育過程を作成し、保育している	A
		個人差への配慮	一人ひとりの子どもの発達に配慮している。 プライバシーへの配慮がされている。	C
		生活への連続性	長時間保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配 慮されている	A
	養護と教育の一 体的展開	乳児保育	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法 が配慮されている	B
		1・2才児の保育	1・2才児の保育のための適切な環境が整備さ れ、保育の内 容や方法が配慮されている	A
		3・4・5才児の保 育	3．4．5才児の保育のための適切な環境が整備され、保育 の内容や方法が配慮されている	A
		小学校との連携	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内 容や方法、保護者とかかわりに配 慮している	A
	環境を通して行 う保育	保育の環境 ・人的環境 ・物的環境 ・空間 ・自然や社会現象	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A
			子どもが基本的に生活習慣を身につけ、積極的に活動ができ るような環境が整備されている	A
			子どもが自発的に活動できる環境が整備され、身近な自然や 社会とかかわれるような取り組みがさ れている	A
			遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している	B
		環境の構成・再構成	快適な環境に整備や空間を使っの工夫している	A

保護者に対する支援	家庭との緊密な関係	子どもの成長の喜びを共有	子どもの様子について日々、保護者に伝えるなど 情報を共有し、成長を喜び合い、共有できる機会を設けている	A
		保育内容等の説明・応答責任	入所時、個々面談、保育参観等の機会をとらえ、説明・応答する機会を設けている	A
		子育てに関する相談・援助	相談・苦情・意見などは、随時園長・主任が窓口となり対応している	A
		保護者への個別支援	一人ひとりの保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、支援している	C
	地域における子育て支援	保育所機能の開放	公開保育や電話相談、交流保育など子育て支援のための取り組みを行っている	C
		関係機関との連携	保育所として必要な社会資源を明確にし、地域の関係機関との連携が適切に行われている	B
		情報提供	保育所が有する機能を地域の子育て支援に関する情報提供をしている	B
保育を支える組織的基盤	健康及び安全の実施体制	健康の保持及び増進	全職員が健康及び安全に関する共通理解を深め、適切な分担と協力の下に年間を通じて取り組んでいる	A
		安全・衛生管理	安全管理のマニュアルがあり、緊急時に備えた安全対策が実施されている	A
			施設の環境を常に適切な状態に保持し、衛生管理に努めている	A
		家庭や保健・医療機関等との連携	安全対策のために職員への共通理解、体制作りを図るとともに家庭や諸機関との連携をとっている	A
	職員の資質向上	保育の計画	全体的な計画・年間計画に基づき、月間計画・週案・日案及び個人の計画を行っている	A
		保育士等の自己評価	保育計画に添い自らの実践と、子どもの育ちを振り返り、自己評価を行い、保育の改善を図っている	A
		保育所の自己評価	自己評価表に基づき、行っている	A
		研修	外部研修・園内研修など職員に応じた研修を行い、資質の向上に努めている	A
	運営・管理・社会的責任	法令等の遵守	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている	B
		個人情報の取扱と苦情解決の責任	個人情報の取り扱いは誓約書で確認し、苦情・意見などは随時園長・主任が窓口となり解決に向けて対応している	B
		施設長の責務	自らの役割と責任を明確にし、理解を図っている	C

<総合評価>

「子どもを尊重する保育のために」職員間の共通意識を高めていこうとしたが、保育士一人ひとりの考えがあり、時として「子どもまんなか」「子どもファースト」が実行できていない、守られていないところがあったことを残念に思った。

昨年から本園・分園わかばと合同開催にした運動会は、改善点（休憩場所、職員の配置等）を検討し行ったので、昨年よりもスムーズに開催することができた。

今年度、分園わかばが本園に移動せず参加できる行事として、人形劇鑑賞をバルーンアートショーに変更した。分園わかばと本園での2回公演をしてもらったが、子どもたち一人ひとりにバルーンのお土産があったり、キャラクターのバルーンがあって、子どもたちのとても喜んでいる姿、笑顔がみられたことをうれしく思った。

また、職員と今後の課題・教材等を話し合う時間を設けた。子どもたちがいきいきと楽しい保育園生活を送っていただけることを願っている。

<評価について>

評価をするにあたっては、以下のような基準で行なっています

A 十分できている

B おおむねできている

C やや不十分

D 改善を要する

	自己評価の観点	項目	内容及び課題	評価
保育理念	子どもの最善の利益の考慮	子どもの人権の尊重	子どもの人権に十分配慮するとともに、一人ひとりを大切に する保育を行っている	A
		保育方針・保育目標	保育理念・指針・保育目標について理解し作成している	A
子どもの発達援助	子どもの福祉を増進することにもっともふさわしい生活の場	健康・安全で心地よい生活	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がされている	B
		子どもの主体的な生活	子どもの主体的な遊びを尊重している	B
		人との関わりを育む環境	遊びや生活を通して、子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮している	B
	生活と発達の連続性	子ども観・発達観の理解と共有	保育指針や理念を理解し、子どもを愛護しながら育むことを共有している	A
		発達過程に応じた保育	発達過程を踏まえ、保育過程を作成し、保育している	A
		個人差への配慮	一人ひとりの子どもの発達に配慮している。 プライバシーへの配慮がされている。	A
		生活への連続性	長時間保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている	A
	養護と教育の一体的展開	乳児保育	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている	A
		1・2才児の保育	1・2才児の保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている	A
		3・4・5才児の保育	3・4・5才児の保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている	A
		小学校との連携	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮している	A
	環境を通して行う保育	保育の環境 ・人的環境 ・物的環境 ・空間 ・自然や社会現象	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A
			子どもが基本的に生活習慣を身につけ、積極的に活動ができるような環境が整備されている	A
			子どもが自発的に活動できる環境が整備され、身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがされている	A
			遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している	A
		環境の構成・再構成	快適な環境に整備や空間を使っの工夫している	A

保護者に対する支援	家庭との緊密な関係	子どもの成長の喜びを共有	子どもの様子について日々、保護者に伝えるなど 情報を共有し、成長を喜び合い、共有できる機会を設けている	A
		保育内容等の説明・応答責任	入所時、懇談会、保育参加等の機会をとらえ、説明・応答する機会を設けている	A
		子育てに関する相談・援助	相談・苦情・意見などは、随時園長・主任が窓口となり対応している	A
		保護者への個別支援	一人ひとりの保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、支援している	A
	地域における子育て支援	保育所機能の開放	公開保育や電話相談、交流保育など子育て支援のための取り組みを行っている	B
		関係機関との連携	保育所として必要な社会資源を明確にし、地域の関係機関との連携が適切に行われている	B
		情報提供	保育所が有する機能を地域の子育て支援に関する情報提供をしている	B
保育を支える組織的基盤	健康及び安全の実施体制	健康の保持及び増進	全職員が健康及び安全に関する共通理解を深め、適切な分担と協力の下に年間を通じて取り組んでいる	A
		安全・衛生管理	安全管理のマニュアルがあり、緊急時に備えた安全対策が実施されている	A
			施設の環境を常に適切な状態に保持し、衛生管理に努めている	A
		家庭や保健・医療機関等との連携	安全対策のために職員への共通理解、体制作りを図るとともに家庭や諸機関との連携をとっている	A
	職員の資質向上	保育の計画	全体的な計画・年間計画に基づき、月間計画・週案・日案及び個人の計画を行っている	A
		保育士等の自己評価	保育計画に添い自らの実践と、子どもの育ちを振り返り、自己評価を行い、保育の改善を図っている	A
		保育所の自己評価	自己評価表に基づき、行っている	A
		研修	外部研修・園内研修など職員に応じた研修を行い、資質の向上に努めている	A
	運営・管理・社会的責任	法令等の遵守	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている	A
		個人情報の取扱と苦情解決の責任	個人情報の取り扱いは誓約書で確認し、苦情・意見などは随時園長・主任が窓口となり解決に向けて対応している	A
		施設長の責務	自らの役割と責任を明確にし、理解を図っている	B

<総合評価>

今年度は、クラスによっては落ち着いたクラスもあり、当該クラスに関しては保育の見直しが必要だと感じた。部屋から出てしまう園児に対しての配慮は、園長、主任や他クラスの保育士の手も借りながら見守ってきた。行事に関しては、特に問題なく行うことが出来たように思う。特に運動会は、親子競技を多く取り入れ和やかな雰囲気で行うことができた。年齢は限られているが、小学校との交流も昨年より増え、お互いによい環境になったので、今後も続けていきたい活動である。これからは、もう少し園内での異年齢児保育を充実させて（例えば0歳児と5歳児の交流を持つなど）いきたい。また、全体的に園外に出ることが少なかったと感じたので、散歩などを充実させていきたい。